

2010年12月1日

「松岡時敏関係文書」の公開について

本所所蔵「松岡時敏関係文書」の整理が終了し、本所図書室にて特殊蒐書として公開の運びとなりました。

同文書は、土佐藩出身の漢学者で、明治初期に左院議官・元老院議官などをつとめた松岡時敏（文化11（1814）年～明治10（1877）年）の関係文書で、時敏の子・松岡於菟衛が帝国大学史料編纂掛で写字生・雇を勤めていたことによって本所に伝来したものです。

従来、その一部が特殊蒐書「松岡毅軒旧蔵書」として閲覧に供されていましたが、その後、追加分として整理されたものを含め、今回あらためて「松岡時敏関係文書」として再整理・公開いたします。合計点数は1000点強となります。

今回新たに公開されたものには、学校・文部省関係および左院・元老院関係の書類が含まれ、明治2年の史料編輯国史校正局に関連する史料や、国憲編纂・内務省設置、その他各種の制度取調に関する史料などがございます。

なお、松岡時敏の関係史料としては、これまで国立国会図書館憲政資料室所蔵「憲政史編纂会収集文書」中に、「松岡時敏文書」として、国憲編纂関係史料を中心とした謄写本が存在することが知られていましたが、その原本は本史料群と思われます。

内容の詳細については、本所「所蔵史料目録データベース」から、キーワード「松岡時敏」および「松岡毅軒」で検索の上、目録をご覧ください。

（データベース「特殊蒐書」プルダウンメニューへの登録は2011年2月以降となります）

閲覧・利用の手続きについては、本所ホームページの「図書室利用案内」をご覧ください。